

露店開設自主点検票

出店状況に火災危険等がないか確認し、確認した項目に☑をつけてください。

開設場所

- 消防水利（消火栓、防火水槽等）から5m以内の場所には設置しません。
- 消防車の進入の妨げ、避難に支障のきたす場所には設置しません。



自主管理・消火準備

- 消火器の正しい取扱方法を確認しています。
- 消火器を準備しています。
- 安全栓や圧力は適正です。



火気器具等

- 火気器具等は安定した不燃性の床等の上で使用します。
- 火気器具等を使用する時は近くの可燃物を取り除いてから使用します。

石膏ボード 厚さ 12mm 以上



ケイカル板 厚さ5mm 以上



スチール製 レンジガード



カセットコンロ

- カセットボンベの収納部分を覆う大きさの鍋、鉄板等をカセットコンロに置いての使用しません。



液化石油ガス1

- LPガスボンベは転倒しないようロープ等で固定し、火気器具等から2m以上離して設置します。
- 三つ又の接続器具を使用する時は、開閉コックがついたものを使用します。



液化石油ガス2

- LPガス専用の器具で、ひび割れがなく抜け防止用のホースバンドが接続部についたものを使用します。



LPガス用 (オレンジ)



都市ガス用 (クリーム色)

電気器具1

□水が掛かる場所の電気器具は、防水性能の有しているものを使用します。



電気器具2

□電気配線には、照明器具等の荷重がかからないようにしています。
□たこ足配線はしていません。



携帯発電機1

□火気等の近くで使用はしません。
□事前に給油をしておき、途中で給油はしなくても良いようにします。



携帯発電機2

□やむを得ず途中で給油をする場合は必ずエンジンを停止します。
□火気使用場所の風上では給油はしません。
(可燃性蒸気が風で流され、引火する危険があるため)



危険物容器1

□危険物容器を使用する場合は、消防法令に適合したものを使用し、取扱説明書に基づき、正しく使用します。
□圧抜きを行う際は、安全な場所で行います。

！噴出注意！

- ★周囲の安全を確認
- ★フタを開ける前に
 - ①エンジン停止
 - ②エア抜きをする
- ★高温の場所禁止

危険物容器2

□種類にあわせた専用の容器で、危険物を保管します。
□直射日光の当たらない場所に保管します。



灯油用ポリ容器

ガソリン携行缶

暖房器具

□暖房器具を使用する際には、可燃物との距離を十分に保ち、使用中はその場を離れません。
□給油は火を消してから行います。



放火防止対策等

□露店を2日間以上にわたり開設する場合は、LPガスボンベ等の危険物は、露店終了後には持ち帰り、露店には存置しません。
□放火されないために、整理整頓を確実に実施します。

